技術相談、共同研究等の技術的支援を受けたい

県工業技術センターによる技術開発の支援

県内の中小企業が、新製品・新技術の研究開発を行う場合に、県工業技術センターが技術相談、受託研究、共同研究、設備使用等を実施することにより中小企業の製品開発を支援します。

対象者

県内の中小企業者または中小企業者の団体等

内　容

- 技術相談
  中小企業者が直面している技術課題の解決について相談に応じています。
- 受託研究、共同研究の実施
  中小企業者が抱える技術的課題を解決するために、工業技術センターにおいて受託研究、共同研究を実施いたします。
- 設備使用
  中小企業の技術開発を支援するために、工業技術センターの保有する設備を開放しています。

活用方法

- 技術相談と設備使用については下記の工業技術センター各研究所の技術総合支援室へご相談ください。
- 受託研究、共同研究については工業技術センター企画管理部までお問い合わせください。

お問い合わせ先

福岡県工業技術センター　企画管理部
筑紫野市上古賀3−2−1
TEL：092−925−5977　FAX：092−925−7724
https://www.fitc.pref.fukuoka.jp/
e-mail：joho@fitc.pref.fukuoka.jp

福岡県工業技術センター　化学繊維研究所（技術分野：繊維、ゴム、プラスチック、セラミックス）
筑紫野市上古賀3−2−1
TEL：092−925−7402　FAX：092−925−7724

福岡県工業技術センター　生物食品研究所（技術分野：食品・バイオ）
久留米市合川町1465−5
TEL：0942−30−6213　FAX：0942−30−7244

福岡県工業技術センター　インテリア研究所（技術分野：木質材料・家具）
大川市上巻405−3
TEL：0944−86−3259　FAX：0944−86−4744

福岡県工業技術センター　機械電子研究所（技術分野：金属材料・機械及び電子技術）
北九州市八幡西区則松3−6−1
TEL：093−691−0231　FAX：093−691−0252

研究開発に対する総合的な支援を受けたい

研究開発基盤施設による支援

研究開発支援、人材育成、交流促進、研究開発型企業育成の4機能を通じて、企業の研究開発を支援します。

対象者

- 地域内外の企業、大学、試験研究機関等の研究者・技術者
- 地域内外の創造的・研究開発型中小企業

内　容

県内４か所（北九州市、福岡市、久留米市、飯塚市）の研究開発基盤施設において、下記の４機能を提供しています。

（１）研究開発支援機能

産学官の研究者、技術者が自由に利用できる開放型試験研究施設を備え、必要に応じ共同研究を行います。また、コーディネータを派遣して産学官による研究開発を支援します。

（２）人材育成機能

研修室や各種研究機器を設置し、地域技術者に先端技術の専門的研修を行い、人材の育成を行います。

（３）交流促進機能

地域内外の企業、大学、試験研究機関等の研究者が自由に交流できる場や最新の技術情報に接する機会を提供します。

（４）研究開発型企業育成機能

起業家精神をもつ技術者等の新事業創出や中小企業の新分野進出に際し、低料金で事務所スペース、オープンラボ等の利用供与を行います。

活用方法

利用の申し込みは、下記までお問い合わせください。

お問い合わせ先

（公財）北九州産業学術推進機構
〒808−0135　北九州市若松区ひびきの2-1
http://www.ksrp.or.jp/　e-mail：info@ksrp.or.jp

（公財）福岡県産業・科学技術振興財団
〒814−0001　福岡市早良区百道浜3-8-33　TEL：092-832-7155
https://www.ist.or.jp/　e-mail：ken1@ist.or.jp

㈱久留米リサーチ・パーク
〒839−0864　久留米市百年公園1−1　TEL：0942−37−6111
http://www.krp.ktarn.or.jp/　e-mail：krp02@krp.ktarn.or.jp

（公財）飯塚研究開発機構（飯塚研究開発センター）
〒820−8517　飯塚市川津680−41　TEL：0948−21−1150
http://www.cird.or.jp/

介護現場のDX化に取り組みたい

福岡県介護DX支援センター

介護事業所の業務効率化や介護職員の負担軽減を図るため、介護テクノロジー機器の導入や業務見直し等の取組を支援します。

対象者

■県内の介護サービス事業所

内　容

■総合相談
業務効率化や介護テクノロジー機器の選定方法や導入方法に関しての相談に応じています。

■機器展示
最新の介護テクノロジー機器の展示を行っています。実際に触れて、体験することができます。

■試用貸出
介護テクノロジー機器を試用できるよう、短期間の貸出を行っています。

■研修会
介護業務の効率化や介護テクノロジー機器の活用に関する研修会を開催しています。

■伴走支援
介護現場の生産性向上に向けた業務の見直しや介護テクノロジー機器の導入等について、専門のアドバイザーによる伴走型の支援を行っています。

※費用はいずれも無料です。

活用方法

■福岡県介護DX支援センターにお問い合わせください。

お問い合わせ先

福岡県介護DX支援センター
〒816-0804　福岡県春日市原町3−1−7　クローバープラザ東棟２階
TEL：092−558−1310　FAX：092−558−1315　https://www.f-technology-supportcenter.jp/

社員の技術力を向上させるための人材育成をしたい

ものづくり生産性向上中核人材育成事業

ものづくりの基盤となる技術講座を開催し、生産性向上に資する中核となる人材を育成します。

対象者

講座を受講・活用し、生産性向上、事業拡大を目指す福岡県内企業の従業員

内　容

分　　野	内　　容
ア）３次元設計	部品組立、衝突回避などのシミュレーションを取り入れた、開発期間を短縮する3次元設計の技術を習得
イ）金型	IoT機器の活用、難削材の高速切削など、短期間、高品質仕上げの金型技術を習得
ウ）めっき	めっき処理工程におけるセンサーによる数値管理など、生産性向上のための先端技術を習得
エ）生産・品質管理	設計・製造での技術課題の分析、原因究明、原因究明結果を基に生産性・品質の向上を実現できるカイゼン方法を習得

活用方法

受講時期、開催場所等は下記にお問い合わせください。

お問い合わせ先

福岡県商工部商工政策課技術人材育成室
TEL：092−643−3415　FAX：092−643−3417

ものづくりに関する技術支援、人材育成に対して支援を受けたい

福岡県ものづくり中小企業推進会議　（ものづくり基盤強化事業費）

成長に向けて自主的な取組を行うものづくり中小企業に対し、行政や支援機関、業界団体等が一体となって支援を行い、本県ものづくりリーディング企業を創出します。

対象者

県内ものづくり中小企業

内　容

（主な業務内容）

・ものづくりシンポジウムの開催

・ものづくり中小企業のリーディング企業の創出支援

　意欲のある県内ものづくり中小企業に対し、成長段階に応じて推進会議と連携支援機関の施策を講じ、リーディング企業創出の後押しをします。

・ものづくり関連施策の情報発信

　各支援機関が実施する人材育成事業、知的財産支援事業、セミナー・シンポジウムの開催、国・ものづくり補助金の募集等、会員企業が有効に活用できる事業についてホームページ及びメールで情報発信します。

活用方法

詳しくは下記の機関までご相談ください。

お問い合わせ先

・福岡県ものづくり中小企業推進会議事務局

福岡市博多区吉塚本町９番15号　福岡県中小企業振興センター11Ｆ115号室

（(一社）福岡県機械金属工業連合会内）

TEL：092−612−5177　FAX：092−612−5178　https://www.monodukuri-fukuoka.jp

・福岡県商工部中小企業技術振興課　技術支援係

TEL：092−643−3433　FAX：092−643−3436

建設技術研修を受講したい

研修事業

公共事業に携わる建設技術者へ向けて、技術力及び知識の向上を目的とした研修・講習会を実施します。

対象者

建設業従事者（建設業者・建設コンサルタント）

内　容

■令和７年度建設業従事者研修

会場：福岡県建設技術情報センター（福岡県糟屋郡篠栗町田中３丁目10 番 20号）

コース	研修名	研修目的	回数	定員
専門	土木の基礎	土木工事における基礎的な知識を学びます。	1回	30人
	地盤を知って得をしよう	地盤の調査と評価に関する知識を学びます。	1回	80人
	アスファルト	アスファルトに関する知識を学びます。	1回	80人
	i-Construction (ICT 活用工事)	i-Construction（ICT 活用工事）の概要について学びます。	1回	80人
	i-Construction (ICT建設機器体験)	ICT活用工事に関するICT建設機器操作を体験し、現場で有用な知識を学びます。	1回	20人
	福岡県発注工事における行政手続き	福岡県発注工事に関連する各行政手続きについて学びます。	1回	80人
	橋梁点検	橋梁メンテナンスにおける点検・診断に関する知識を学びます。	1回	80人
	流域治水・環境	流域治水・環境に関する知識を学びます。	1回	80人
	橋梁補修設計	橋梁の補修設計に関する基礎的な知識を学びます。	1回	80人
	インフラメンテDX	デジタル技術を活用した先進的インフラメンテナンスに関する知識、事例を学ぶ。	1回	30人
IT	３次元・CIM	３次元データの作成、３次元データを活用した施工管理、CIMに関する知識を習得する。	4回	30人

その他講習会も実施いたしますので、詳細はホームページをご参照ください。

活用方法

■開催日及び申込方法：ホームページをご参照ください。（http://fcti.jp/）

お問い合わせ先

(公財)福岡県建設技術情報センター　試験研究課　調査研修係

TEL：092−947−2643　FAX：092−947−2504

e-mail：kensyu@fcti.jp　URL：http://fcti.jp/

自社のデジタル化を推進したい

中小企業デジタル化支援事業

中小企業におけるものづくり技術のデジタル化を支援します

対象者

ものづくり技術のデジタル化に取り組む県内中小企業の技術者など

内　容

（1）「デジタル化実証支援ラボ」によるものづくり技術のデジタル化支援

・工業技術センター機械電子研究所に設置した「デジタル化実証支援ラボ」の各種機器を活用した、ものづくり技術のデジタル化に関する共同研究や技術指導等を行います。
・企業の技術者の方に支援ラボの各種機器を活用してもらうためのセミナーを開催します。

（2）ものづくり企業デジタル化人材育成

・地域での先進企業の協力を得て、生産効率の向上や、現場に直結した実践的なデジタル基礎技術を習得できる現場技術者向けの人材育成を実施します。

事　　業	概　　要
現場技術者向けデジタルカイゼンセミナー	中小企業の設計・生産部門の現場技術者を対象に、デジタル化を実践するために必要なデジタル技術の基礎知識を習得するためのセミナー
デジタル設計実践講座	3DCADによる基本設計、CAEによる評価試験・最適構造設計、CAMによる加工までのデジタル設計技術を習得するための講座
IoT導入実践講座	IoTデバイスを各中小企業の現場に実際に導入し、IoTデータによる分析方法や分析に基づくカイゼン方法、また、カイゼンを実現するためのAIの活用方法を習得するための実習講座

活用方法

詳しくは下記までお問い合わせください。

お問い合わせ先

（1）に関すること

福岡県工業技術センター　機械電子研究所

北九州市八幡西区則松 3-6-1

TEL：093-691-0231　FAX：093-691-0252

（2）に関すること

福岡県商工部商工政策課技術人材育成室

TEL：092-643-3415　FAX：092-643-3417

グリーンデバイス・半導体分野で事業展開したい

福岡県グリーンデバイス開発生産拠点推進事業

グリーンデバイス・半導体分野への参入や事業拡大を目指す企業に対し、設計・試作から製品・研究開発、試験・評価に至るまで一貫した支援を行います。

対象者

グリーンデバイス・半導体分野への参入や事業拡大を目指す県内の企業
※グリーンデバイス：省エネルギーに直結するパワー半導体や低消費電力化（高速処理・効率処理）を実現する半導体などの総称

内　容

（1）設計

・ふくおかIST「産業技術イノベーションセンター」において、半導体設計（EDA）ツールを整備しています。令和６年９月からJEDAT社の「SX-Meister」も導入されました。
詳細：https://lsi.ist.or.jp/lsidesign

（2）製品・研究開発・試作

・ふくおかIST「三次元半導体研究センター」において、半導体関連製品の高密度化を図るため、複数の半導体チップ等を三次元に積層するために必要な研究開発、試作・評価を支援する、実装機器類、評価機器等を整備しています。
・令和６年度から、企業版ふるさと納税等を活用して、ふくおかIST「三次元半導体研究センター」に最先端機器を導入しています。
詳細：https://jiss.ist.or.jp

（3）試験・評価

・ふくおかIST「社会システム実証センター」において、電子機器から発生する電磁波の検査を行う「EMCノイズスキャナ」や「電波暗室」、ABS樹脂による筐体製作を行う「３Dプリンタ」など、半導体関連製品の試作開発に必要となる機器を利用できます。

（4）事業化支援

・半導体業界に精通したアドバイザーが企業訪問し、新規参入、新分野参入を希望する企業に助言やビジネスマッチングを行います。
■半導体取引拡大アドバイザー

活用方法

■詳細については、下記にお問い合わせください。

お問い合わせ先

（公財）福岡県産業・科学技術振興財団（ふくおかIST）
・産業技術イノベーションセンター
企画管理部企業支援グループ
〒814−0001　福岡市早良区百道浜3-8-33
TEL：092−832−7151　FAX：092−832−7152　https://lsi.ist.or.jp
・社会システム実証センター・三次元半導体研究センター
社会システム実証部・三次元半導体部管理グループ
〒819−1122　糸島市東1963-4
TEL：092−331−8510　https://jiss.ist.or.jp

バイオ関連の研究開発を行いたい

バイオベンチャー等に対する研究開発費支援事業（福岡バイオ産業創出事業）

県内の中小企業者・組合等及び創業計画を有する個人が、バイオテクノロジー及び関連分野で新製品・新技術の研究開発・事業創出等を行うものに支援を行い、その成果の実用化・事業化を目指すものです。

対象者

県内の中小企業等が単独、または他の企業及び研究機関（大学、高専、公設試験研究機関を含む）と共同で行う研究開発で、次のものを対象とします。

- バイオテクノロジーまたは関連分野で新製品、新技術の開発を目指す研究開発であること。
- 技術シーズを基に、それを応用した実用化及び事業化の計画を有するものであること。
- 育成支援型、実用化支援型、機能性食品型では、事業の基盤となる技術シーズが明確であること。

（1）可能性試験型

- 県内に事業所を有する中小企業及び法人格を有する中小企業者の団体。
- ２年以内に県内においてバイオテクノロジーの応用に関する創業計画を有する個人。
- 大学、公的試験研究機関等の研究機関。

（2）育成支援型

- 県内に事業所を有する中小企業及び法人格を有する中小企業者の団体。
- ２年以内に県内においてバイオテクノロジーの応用に関する創業計画を有する個人。

（3）実用化支援型

- 県内に事業所を有する中小企業及び法人格を有する中小企業者の団体。

（4）機能性食品型

- 県内に事業所を有する中小企業及び法人格を有する中小企業者の団体。

内　容

採択件数は、新規、継続をあわせて、可能性試験型６件程度、育成支援型８件程度、実用化支援型１件程度、機能性食品枠２件程度です。委託期間は原則として１～２年です。

（1）可能性試験型

- １件あたりの委託額は、年間100万円程度です。

（2）育成支援型

- １件あたりの委託額は、年間 400 万円程度です。

（3）実用化支援型

- １件あたりの委託額は、年間800万円程度です。

（4）機能性食品枠

- １件あたりの委託額は、年間200万円程度です。

活用方法

対象となる経費は、機械装置費、人件費、原材料費、消耗品費、旅費、委託費、共同研究費、その他経費で、研究開発に要する経費です。各支援型により、対象経費が異なります。なお、委託額は、対象となる経費の一部（２／３以内）とします。

お問い合わせ先

福岡バイオコミュニティ推進会議事務局
〒839－0864　久留米市百年公園１－１
株式会社久留米リサーチ・パーク　バイオ事業部
TEL：0942－37－6124　FAX：0942－37－6367　https://www.fbv.fukuoka.jp

医療福祉機器分野で事業展開したい

医療福祉機器関連産業振興事業

医療福祉機器分野への参入に向けた課題解決や機器の開発･実用化を支援します。

対象者

「ふくおか医療福祉関連機器開発・実証ネットワーク」の会員企業等

※ネットワークの詳細、ご加入は、以下の HP をご覧下さい。入会金、会費等は無料です。
https://fukuoka-kikinet.jp/

内　容

（1）情報の提供・発信

国、県、関係機関による支援施策など、必要な情報を提供・発信します。

（2）セミナーの開催

医療福祉機器分野への参入をめざす企業等を対象とした各種セミナーを開催します。

（3）コーディネータによる支援

各分野の専門家が医療福祉機器分野への参入や機器開発を支援します。

・病院等の現場や大学と開発企業のマッチング
・機器の開発を行う企業に対するアドバイス　　など

（4）法規制等への対応支援

医療機器の製造販売業等の業許可や機器の認証取得などを支援します。

・「開発相談コンシェルジュ」が相談対応やアドバイスを実施
・医療機器の審査機関である PMDA(医薬品医療機器総合機構)による薬事戦略相談、保険医療材料制度の所管である厚生労働省による保険適用相談を実施
・医薬品医療機器等法の制度や保険適用に関するセミナーを開催

※県保健医療介護部薬務課で実施。

（5）医工連携モデル事業の実施

九州大学先端医療オープンイノベーションセンターの支援による企業の機器開発を推進します。

（6）医療福祉関連製品開発支援

飯塚地域の病院や大学等と連携し、県内企業の医療福祉関連製品の開発を支援します。

・県内中小企業の医療福祉関連機器の開発や製品化調査に必要な経費を一部助成
・医療・福祉施設の現場ニーズの情報提供や製品評価を実施

（7）革新的医療機器開発支援

先端技術を用いた革新的医療機器を開発する県内企業を支援するため、研究開発に必要な経費を一部助成します。

（8）販路開拓支援

医療福祉機器分野の展示会等への出展により、開発機器の販路開拓を支援します。

活用方法

下記ネットワーク事務局にお問い合わせください。

お問い合わせ先

ふくおか医療福祉関連機器開発・実証ネットワーク事務局（福岡県商工部先端技術産業振興課）
TEL：092−643−3543　FAX：092−643−3421　e-mail：fukuoka-kikinet@pref.fukuoka.lg.jp
URL：https://fukuoka-kikinet.jp/

水素関連分野で事業活動を展開したい

商談会等による取引機会の提供、助成金等による製品開発を支援

（水素グリーン成長戦略推進事業）
産学官で構成する「福岡県水素グリーン成長戦略会議」では、製品開発助成や人材育成、展示会出展支援等により、県内企業の水素関連分野への参入や事業拡大を支援します。

対象者

水素関連分野への参入や事業拡大を目指す県内企業

内　容

（1）製品開発等助成

企業や大学などで構成される研究グループに対し、新製品・サービスの研究開発費を助成します。

①可能性調査枠……シーズ技術の事業化可能性を調査
助成規模：１年限りで500万円以内

②事業化研究枠……事業化が期待される製品開発に助成
助成規模：最長３年間で2,500万円以内

（2）研究会

水素関連分野への新規参入・取引拡大を促進するため、水素の製造、供給、利用で必要となる各部品の構成等に関する研究会を開催します。

（3）人材育成

水素・燃料電池関連ビジネスを担う技術者の方を主な対象とした講座を実施しています。

（4）販路拡大

水素関連の展示会に共同ブースを設置し、自社技術や製品のPR及びビジネスマッチングを推進します。

（5）「福岡県水素グリーンイノベーションサポート窓口」

県と九州大学が連携し、①水素関連産業への参入、②水素技術の導入、③産学官連携による社会実装プロジェクトの企画・調整など、水素関連分野の相談にワンストップで対応しています。

活用方法

■事業の活用に当たっては、特定の要件が必要な場合があります。
詳細については、下記にお問い合わせください。

お問い合わせ先

福岡県水素グリーン成長戦略会議事務局
福岡市博多区東公園７−７（福岡県商工部自動車・水素産業振興課内）
TEL：092−643−3448　FAX：092−643−3847
ホームページ：https://www.f-suiso.jp　e-mail：info@f-suiso.jp

有機光エレクトロニクス分野で事業展開したい

有機光エレクトロニクス実用化開発センター

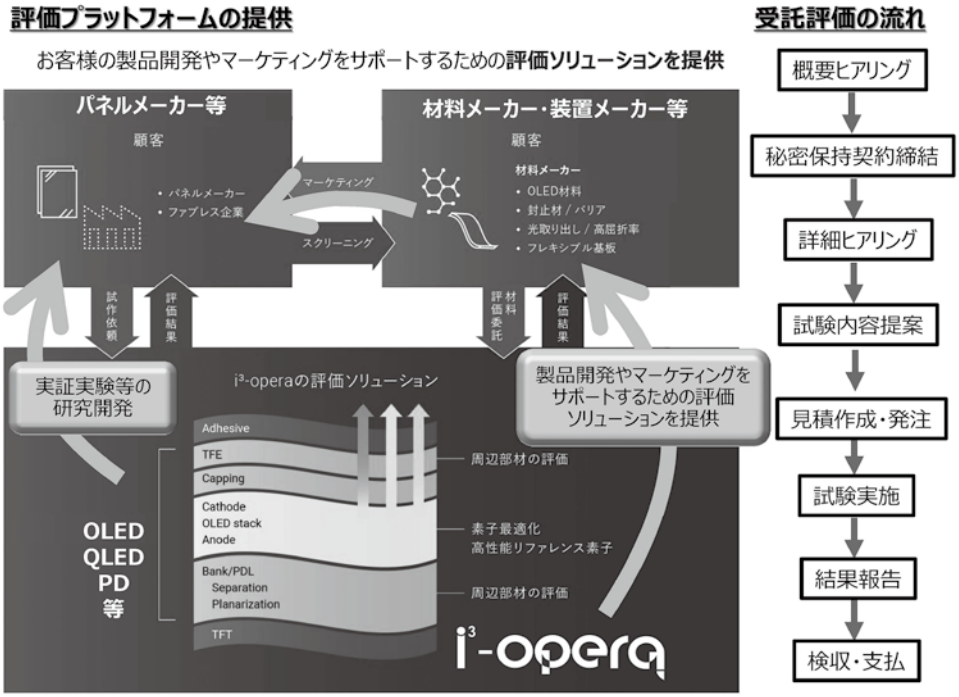
有機光エレクトロニクス実用化開発センター(i³-opera)において、有機光エレクトロニクス分野の最先端研究シーズの実用化や同分野への企業の参入を支援します。

対象者

有機光エレクトロニクス関連の新たな製品（材料、製造装置、関連部材等）の開発を行う企業等

内　容

・有機光エレクトロニクス実用化開発センターでは、クリーンルーム内の有機ELデバイス製造装置や各種の評価・解析装置により、最先端有機EL材料の試験・評価等を行います。
・有機光エレクトロニクス産業化研究会（入会無料）により、最新情報や交流の場を提供し、有機光エレクトロニクス分野への参入を促進します。
・有機EL等次世代発光材料分野への参入を目指す県内に事務所を持つ企業の製品開発、販路開拓に必要な経費を一部助成します。
・有機光エレクトロニクス分野における人的ネットワークと専門スキルを活かして県内企業の技術的課題解決のサポートをします。



活用方法

下記の機関にお問い合わせください。

お問い合わせ先

(公財)福岡県産業・科学技術振興財団(ふくおか IST)
有機光エレクトロニクス実用化開発センター(i³-opera)
有機光エレクトロニクス部
TEL：092-805-1850　https://www.i3-opera.ist.or.jp

風力発電関連分野で事業展開したい

風力発電産業集積促進事業

風力発電産業に関するセミナーや専門家派遣、展示会への出展支援等を通じて、風力発電産業への参入と販路拡大を支援します。

対象者

福岡県風力発電産業振興会議の会員であり、福岡県内に活動拠点を有していること。

内　容

（1）セミナー・勉強会の開催

風力発電に関する最新動向や技術情報を提供するセミナーや、会員の関心が高い分野にかかる勉強会を開催します。

・参 加 料：無料

（2）風力発電専門家派遣事業

風力発電に関連する知識の習得を支援するため、風力発電事業者や学術者等の専門家を派遣します。

・費用負担：無料
・派遣回数：１案件につき同一年度内原則２回以内
・派遣期限：毎年度２月末
・Ｕ　Ｒ　Ｌ：https://f-wpa.jp/info/496/

（3）大型展示会への出展支援

風力発電に関する展示会に共同ブースを設置することで、会員の技術や製品のＰＲ及びビジネスマッチングを図ります。

・支援内容：出展料、基本装飾料、検索サイト掲載料を福岡県風力発電産業振興会議が負担します。

（4）洋上風力発電人材育成講座受講料補助金

洋上風力発電に関する専門知識・能力を培う講座の受講料を補助します。

・対象経費：受講料（税抜）の１／２以内（１者あたりの上限額：15万円）
・対象講座：https://f-wpa.jp/info/1141/

活用方法

詳しくは、下記へお問い合わせください。

お問い合わせ先

福岡県風力発電産業振興会議事務局
（福岡県企画・地域振興部総合政策課エネルギー政策室内）
〒812−8577　福岡市博多区東公園7−7
TEL：092−643−3228　FAX：092−643−3160　E-mail：info@f-wpa.jp
福岡県風力発電産業振興会議HP：https://f-wpa.jp/

リサイクルに関する研究開発に対して支援を受けたい

福岡県リサイクル総合研究事業化センター研究開発支援事業

福岡県における循環型社会の構築に寄与し、実用化が見込まれるリサイクル技術の開発及び社会システムの構築に関する共同研究を支援します。

対象者

次のいずれかの共同研究開発チーム
・「産」「学」「官」「民」のうち異なる２者以上で構成されたもの
・「産」は２者以上で構成されたもの（ただし、構成企業又は団体が互いに資本・人事面において関連がないこと）

内　容

（1）研究会

本県における循環型社会の構築に寄与し、実用化が見込まれるリサイクル技術の開発及び社会システムの構築に関する共同研究であって、次のようなテーマに取り組むもの。
・新規性が認められるリサイクル技術の開発及び社会システムの構築
・２R（リデュース、リユース）の推進の取組
・既存のリサイクル技術・システムの生産性を向上させる取組
・地域循環共生圏の仕組みづくり
・IoT、AIを活用し、効率的な資源循環システムを構築するための取組
■委託金額：年間 100万円程度
■研究期間：最長２年

（2）共同研究プロジェクト

研究会において実用化が見込める段階まで研究が進んだ場合には共同研究プロジェクトへステップアップが可能です。
■委託金額：年間最大 1000万円
■期　　間：原則２年以内

活用方法

（公財）福岡県リサイクル総合研究事業化センターにおいて、提案を受け付けます。
※募集期間があります。（例年１月下旬～２月中旬）
※研究テーマやリサイクルに関する相談は、年間を通じて受け付けていますので、下記にお問い合わせください。

お問い合わせ先

（公財）福岡県リサイクル総合研究事業化センター研究開発課
TEL：093−695−3068　https://www.recycle-ken.or.jp

プラスチック代替製品の開発を行いたい

先進的プラスチック代替製品開発支援事業

バイオプラスチック等を活用した先進的なプラスチック代替製品の開発を支援します。

対象者

先進的なプラスチック代替製品を開発する県内中小企業
※県税の滞納がない方

内　容

(1)対象製品

素材もしくは製品の種類において従来にない工夫がある、先進的なプラスチック代替製品(※)

※プラスチック代替製品とは次の素材を使用した製品

・紙や木など、プラスチック以外の素材
・バイオプラスチック
・再生プラスチック
・その他知事が認める、石油プラスチック使用削減効果のある素材

(2)対象経費

原材料費、試作・製造に要する経費、外注費、調査費、事務費　等

(3)補 助 率

補助対象経費の1／2以内

(4)補助上限

年間500万円

(5)補助期間

2年間

申請手続き

○令和7年度の募集期間については、県のホームページでお知らせします。
○交付申請書のほか、必要な書類を添付して提出してください。
○詳細は、県のホームページでご確認ください。
https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/pla-product.html

お問い合わせ先

福岡県環境部循環型社会推進課　企画係
TEL：092-643-3371
E-mail：plastic@pref.fukuoka.lg.jp

電子・電気機器の電磁ノイズを測定したい

ADOX福岡　EMCサイト

様々な電子・電気機器は、妨害電磁波を出さない、妨害電磁波を受けても誤動作しない基準を満たした製品しか販売できません。当施設は、この試験が本格的にできる九州唯一の試験所です。

対象者

電子・電気機器を開発、製造、販売する事業者等

内　容

1．EMC試験の概要

項　目	内　　容
自主試験	使用者自身で行う試験で、操作方法等はスタッフがご説明致します
規格試験	当センタースタッフが指定された規格に基づき試験を行います また、試験結果に対する試験報告書を発行致します この試験には、使用規格やテストプラン（使用者が作成･用意）等の事前打合わせが必要です
依頼試験	操作方法や誤動作判定が簡便な物などは、依頼者立会いなしで、当センタースタッフのみの依頼試験の実施ができます（事前確認の簡易試験等で、ご利用が可能です） お客様ご希望の内容に、可能な限り対応します

2．営業日・時間

平日の9：00～17：00
（土日・祝日・年末年始は休業、営業日外及び営業時間外のご利用はご相談ください）

活用方法

予約やご利用等は、当EMCサイトのHP「利用案内」をご参照して下さい
また、不明な点等があれば、HPの「お問い合わせ」より、ご連絡下さい

お問い合わせ先

直鞍産業振興センターADOX福岡　EMCサイト
直方市大字植木1245−2
TEL：0949−29−1400　https://adox-fukuoka.jp/